【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No.62
このメールマガジンは、NPO法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――□◇□◇□◇□◇

◆NPO法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆
「リバティ・パブ」
2022-11-1 No.62

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――□◇□◇□◇□◇

リバティ・パブとは…
自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、
情報を共有する場です。

・リバティ…Liberty(自由)
・パブ……Publication(出版)とPublic House(公共の場)、PUB(大衆酒場)を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、
「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。
著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り
出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。
リバティ・パブで一緒にこの文化を広めていきましょう。

□□ ―――――――――――――――――――――――― □□

こんにちは！日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原由美です。

11月になりましたね。いよいよ3年ぶりの日本自費出版フェスティバルが
リアル開催されます。
読書の秋…… たくさんの本や著者、出版社の方との交流が楽しみです。

それでは、「リバティ・パブ」№62をお届けいたします。

◆◆◆◆◆◆◆◆ CONTENTS ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1．ニュース ……「2022日本自費出版フェスティバル」が
11/12（土） 3年ぶりに開催

2．お知らせ …… 文化賞応募者の傾向調査
応募者の男性2：女性1は長年変わらず

3．お知らせ …… 第38回自費出版アドバイザー講座11/11に開催

4．自費出版事情… ～会員便り～№59

☆ 知っとこ旭川 その 6

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

1.ニュース …「2022日本自費出版フェスティバル」が
11/12（土） 3年ぶりに開催

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

「2022日本自費出版フェスティバル」が3年ぶりに11月12日（土）
東京のアルカディア市ヶ谷で開催されます。
主な内容は第25回日本自費出版文化賞の作品展示と受賞作品の即売会、
受賞者の表彰式とスピーチです。
なおコロナ感染防止のため懇親パーティーはありません。

募集しました当日の運営ボランティアもおかげさまで集まりました。
改めてお礼を申し上げます。ただもう少し手を挙げてくれる人がいます
と楽になりますので、お手伝いができる方はよろしくお願いいたします。

文化賞主催者のジャグラの役員も当日の午前中まで近くで会合があり、
顔を出していただけるようです。
また、司会は名古屋の鳥原由美さんと三鷹の宮川和久さんの強力コンビ
となりました。

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

2.お知らせ …文化賞応募者の傾向調査
応募者の男性2：女性1は長年変わらず

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

日本自費出版文化賞応募者の傾向を調べた結果を報告いたします。
まず男女比ですが、第1回から11回までの平均は、男性67%女性33%、
今回の第25回の平均は男性66%女性32%グループ等1%でした。
ということで男性2：女性1の比率は長年変わっていません。
応募平均年齢ですが、第1回から11回までの平均が、男性63.7歳、
女性58.3歳で、男女合わせた平均は61.8歳でした。

第25回の男性平均年齢が69.2歳、女性64.6歳で、男女合わせた平均は
67.7歳でした。20年間で応募年齢がそれぞれ5,6歳高くなっています。
ざっくりですが今は、男性が70歳、女性は65歳前後が応募していると
言えるでしょう。
部門別で目立つのは個人誌部門で、最初の11年間の平均が27.9%で、
最近10年間の平均が16.3%となっています。最初の頃は自分史が3割近く
占めていたのが、このごろは1.6割となり応募作品が自分史から他の
ジャンルに分散している傾向が見られました。

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

3.お知らせ …第38回自費出版アドバイザー講座11/11に開催

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

2022年11月11日（金）15:00-16:40に
リアル＋オンライン形式で
第38回自費出版アドバイザー講座を開催いたします。
※リアル開催の場所は、ジャグラ本部会議室

【講座名】
自費出版　受注、成約の秘訣と新しい取り組み、そして未来

【講師】
有限会社一粒社/一粒書房　　取締役会長　都築　延男氏

【内容（予定）】
創業74年の印刷会社で長く自費出版事業を展開され、日本自費出版ネットワーク創設
時のメンバーのお一人でもある都築延男さんを講師に、年間の刊行点数の多さや、
問い合わせからの成約率「6割」というその秘訣、新しい自費出版事業への取り組み、
そして自費出版事業で思い描く夢なども、たっぷりと語っていただきます。

★詳細、申込に関しては、チラシをご覧ください。

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

4．自費出版事情　…　～会員便り～ №59

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

パレードブックスの太田と申します。
弊社はデザイン会社を母体として1998年より自費出版事業を開始し、
今まで2000タイトル以上の自費出版をお手伝いしてまいりました。

パレードブックスの強みといえばなんといってもデザイン。
中でも完全オリジナルデザインの表紙、これがなかなか好評です。
自費出版のお客様はデザインの知識がない方がほとんどですから、
「この写真を使って」「憧れのあの本に近いデザインに」
「物語と同じ時代のレトロな雰囲気を希望」などなど、
自由なアイデアをどんどんぶつけてきます。

こうした多種多様な要望にお答えするには、デザイナーの腕前・センス
だけではなく、これまで培ってきたノウハウがものをいいます。
おかげさまで、いまではデザイン提出後の大きな修正依頼はほとんどありません。

本のデザインは本当に奥深い。紙の種類を変更するだけでまったく違う仕上がり
になります。
自費出版において、本のつくり手としては著者に安さだけをアピールするのではな
く、時にはお金がかかっても、より適切な選択肢を提案する姿勢が大事です。

いまは著者の方も知識が豊富になってきていますし、私たちもプロとして
紙、印刷、製本…各所と話をしながら、常に情報交換を行っています。
そして、今後とも優れたサービスをご提供できるよう取り組んでまいります。

株式会社パレード
太田宏司郎

□□ ―――――――――――――――――――― □□

☆ 知っとこ旭川 その 6

□□ ―――――――――――――――――――― □□

承前 ついでに申し上げると旧陸軍の第七師団はだいななしだんと呼ばず、
だいしちしだんと読みます。
一説には昭和天皇が行幸されたときに「だいしちしだん」と読んだので、
それからしちになったとか。市街地にある常磐公園も渡辺錠太郎第七師団長が
揮毫したときに盤の文字の皿を石にしたため、周辺の地名は常盤ですが、公園
だけは常磐公園です。こちらは読みは同じです。渡辺錠太郎はのちに陸軍教育監
となりますが、二二六事件で青年将校に機関銃で殺害されました。
次女渡辺和子は「置かれた場所で咲きなさい」などで有名ですが、旭川での講演で
「軍人のために割れやすい皿より硬い石をと思ったのでは」と言ったといわれています。
むしろ、軍の力は強大で、一旦師団長が行ったことは誰も正すことはできないからだとも
いわれています。
それとこれは眉唾ですが、東旭川は屯田兵が拓いた町ですが、時の師団長が忠別太（旭川の古名）
は「別」が縁起が悪いので、旭川を持ってきて、仕方ないので東を付けて東旭川になったとか。
東旭川にある神社は旭川神社、中学校も旭川中学校です。この辺の時代のことはよくわかりません。

冬支度 冬が好き？
さて、雪虫が飛び、初冠雪となりました。ただちに積もるわけではありませんが、
白銀に包まれた朝は爽快な目覚めです。それまで、日が短くなって暗い気持ちになっていたもの
ですから、「さあ来たな、冬」となります。
否、それは気持ちだけ。
さすがに最高気温が一桁になると体が縮こまります。

冬が来る前に重要な準備があります。薪を山からではなくて、車のタイヤを雪用のスタッドレス
タイヤに履き替えます。昔はスノータイヤを用意してホィールに巻き直すという大変なことをして
いたのですが、今はホィールにつけたまま保存して、季節になるとボルトを外して交換となります。
この時期はどこのスタンドも交換を依頼する車で一杯です。

ワイパーもゴムで包まれた冬用に換えます。夏用では雪がワイパーに凍り付いてしまいます。
冬の間は駐車したらワイパーを立てておきます。ワイパーとフロントガラスがくっついちゃうんです。
それから雪下ろし用のスノーブラシが必携です。私はさらに小さなスコップやバッテリーコードなど
を積んでおきます。同僚は膝まである雪用の長靴も積んでいます。さあこれで万全かな。
積もるのはもうすぐです。

物置には夏タイヤをしまって、雪かき（雪はねとは言わないようです）やスノーダンプを出して
おきます。ちなみにこのダンプは雪をはねるのでなく押しつけて運ぶのに大いに役立ちます。
人間ラッセルとも言うべきものですが、ママさんダンプという商品があって、登録商標だそうです。
頼もしい名前ですね。
昨シーズンは札幌が記録的な大雪になり、逆に旭川は少雪で楽しました。
今シーズンはどうなりますことか。（続く）

株式会社あいわプリント
渡辺 辰美

****

★あとがき

パレードブックスさん。その母体である株式会社パレードさんは
2017年に30周年記念本『三〇周年大百科』を制作され、
第21回日本自費出版文化賞グラフィック部門賞を受賞されています。
授賞式には、版元として、そして著者としても参加されたそうです。
素晴らしいですね。

その素敵な日本自費出版文化賞授賞式、間もなく開催です。
そして、私は司会という大役を仰せつかりました(汗)

フェスティバルで皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp　まで、お願いいたします。

*:
◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話:03-5623-5411
FAX: 03-5623-5473

http://www.jsjapan.net/

*: